公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート

ANNUAL REPORT

KFAW

平成29(2017)年度 年報

（公財）アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業

第 28 回アジア女性会議ー北九州（安里和晃氏）

行政官のためのジェンダー主流化政策 2017

国際理解セミナー「多様性の国・インドネシア講演会」

KFAW 台湾スタディツアー 2017　台湾 BPW との懇談会

国際理解セミナー「聞かせて！スウェーデン人のパパ
～北欧と日本の暮らし～」

第 29 回 KFAW 研究報告会

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業

働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座

おとこの魅力アップシリーズ・味噌づくり男子

北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）の主な事業

開館 30 周年記念講演会（榎木孝明氏）

クリスマスの寄せ植え

北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の主な事業

開館 40 周年記念講演会（内村周子氏）

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座
「あなたの腸は大丈夫？腸を整えて元気な毎日を」

目　次

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書 …… 2
目的 …… 3
事業内容 …… 3
組織 …… 3
職員数 …… 4
役員等 …… 4
運営 …… 5

平成 29（2017）年度実施事業

公益目的事業Ⅰ
調査・研究事業 …… 10
交流・研修事業 …… 14
情報収集・発信事業 …… 18
国際研修事業 …… 19
公益目的事業Ⅱ
指定管理事業 …… 22
男女共同参画センター管理運営業務 …… 22
勤労婦人センター管理運営業務 …… 29
【レディスもじ】 …… 29
【レディスやはた】 …… 33
【勤労婦人センター管理業務】 …… 37
自主事業 …… 37
男女共同参画センター自主事業 …… 37
勤労婦人センター自主事業 …… 37
指定管理施設利用状況 …… 38
収益事業等
その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業 …… 42
その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業 …… 42
法人事業 …… 44

財務諸表

貸借対照表内訳表 …… 46
正味財産増減計算書内訳表 …… 47
財務諸表に対する注記 …… 48

資料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み …… 52
刊行物一覧 …… 60
海外とのネットワーク …… 65
施設案内 …… 66

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975 年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦 2000 年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がいっそう重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。（1993 年起草）

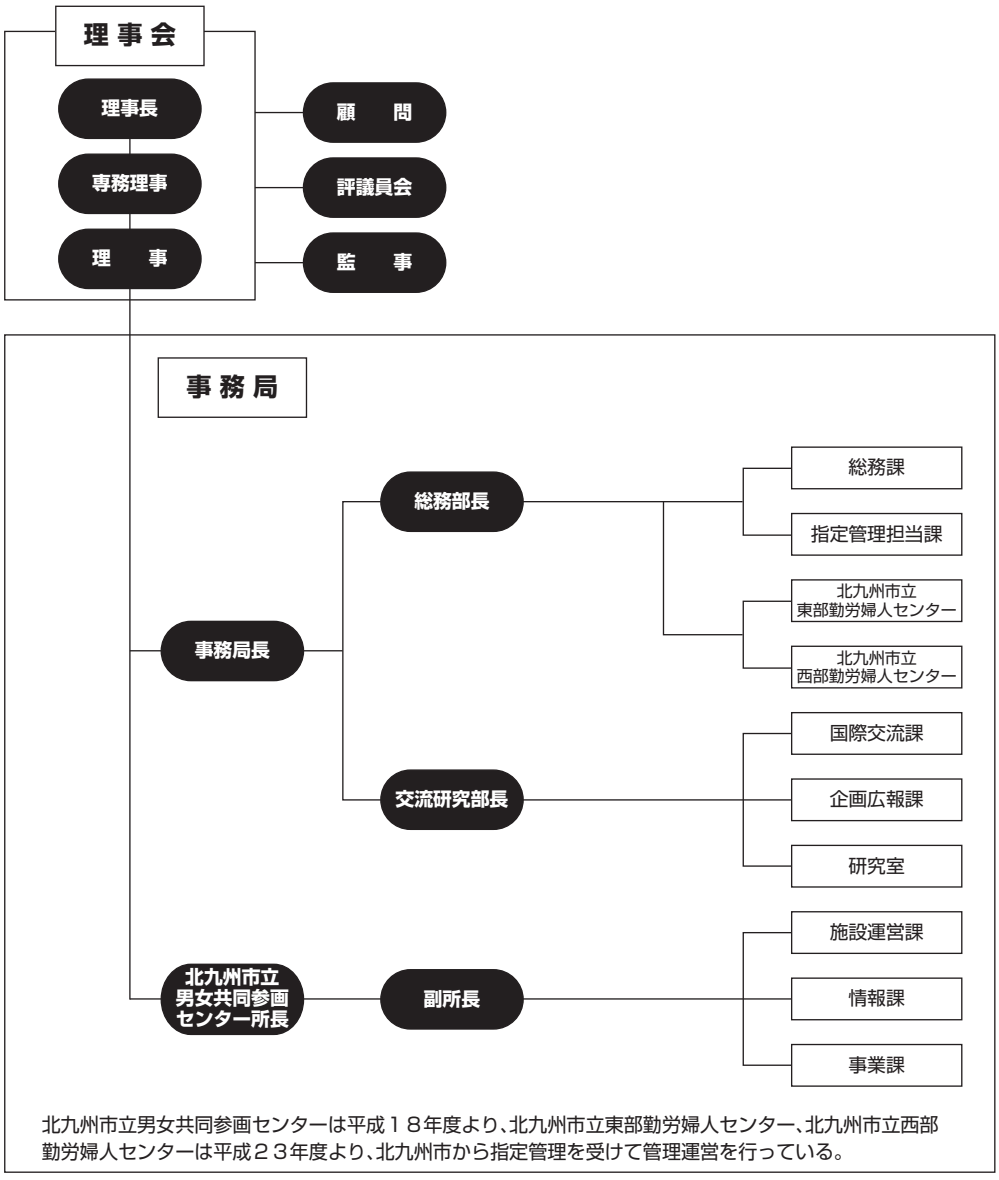
目　的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー（社会的性別）問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

事業内容

⑴　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
⑵　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
⑶　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
⑷　北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）の管理・運営
⑸　その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

組　織



北九州市立男女共同参画センターは平成１８年度より、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターは平成２３年度より、北九州市から指定管理を受けて管理運営を行っている。

職員数

平成 30 年 3 月 31 日現在

区分		所長	事務局長	部長級	課長級	職員	計
市派遣職員				2	4		6
	うちムーブ職員※1			1	2		3
	うちレディス職員※2						
市 OB			1	(1)※4			1
	うちムーブ職員※1						
	うちレディス職員※2						
嘱託職員					4	27	31
	うちムーブ職員※1				1	15	16
	うちレディス職員※2				2	6	8
その他（役員との兼務）		1※3					1

※ 1　北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員
※ 2　北九州市立勤労婦人センター（レディスもじ、レディスやはた）の運営に従事する職員
※ 3　所長は専務理事が兼務する。
※ 4　総務部長は事務局長が兼務するため、（　）表記により、計には含まない。

役員等（五十音順）

平成 30 年 3 月 31 日現在

理事長

堀内　光子

専務理事

柴田　邦江

理事

小川　健一郎	公益財団法人大阪 YMCA 総主事
北野　久美	北九州市保育士会会長
田村　慶子	北九州市立大学教授
原田　美紀	弁護士
湯淺　墾道	情報セキュリティ大学院大学学長補佐・教授、北九州市男女共同参画審議会副会長

監事

有田　徹也	株式会社福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長
石井　佳子	北九州市会計室長

顧問

小川　洋	福岡県知事
北橋　健治	北九州市長
原　ひろ子	元　財団法人アジア女性交流・研究フォーラム会長

評議員

梅本　和秀	北九州市副市長
大島　まな	九州女子大学教授
緒方　撰子	北九州市婦人会連絡協議会会長
窪田　由紀	九州産業大学教授
戴　　二彪	公益財団法人アジア成長研究所研究部長
築別　悦子	北九州市女性団体連絡会議会長
冨安　兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会代表
羽田野　隆士	北九州商工会議所専務理事
松尾　太加志	北九州市立大学学長
三隅　佳子	国連ウィメン日本協会北九州会長
村上　順滋	北九州市私立幼稚園連盟会長

運　営

1　理事会

⑴　第 1 回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 29 年 4 月 14 日（金）

議　　案　　平成 29 年度臨時評議員会（みなし決議）の開催について

議事結果　　議案可決

⑵　第 2 回理事会

開 催 日　　平成 29 年 6 月 7 日（水）10：00 ～ 11：45

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　7 名

議　　案　　・平成 28 年度事業報告及び決算について

・処務規程の一部改正について

・平成 29 年度定時評議員会の招集の決定について

議事結果　　全議案可決

⑶　第 3 回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 29 年 6 月 23 日（金）

議　　案　・代表理事 1 名選定の件（代表理事堀内光子氏の任期満了に伴いこれを再任すること）

・専務理事 1 名選定の件（専務理事西本祥子氏の任期満了に伴い、柴田邦江氏を選任すること）

議事結果　　全議案可決

⑷　第 4 回理事会

開 催 日　　平成 29 年 9 月 26 日（火）14：00 ～ 14：20

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　7 名

議　　案　　平成 29 年度男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業会計の補正予算について

議事結果　　議案可決

⑸　第 5 回理事会

開 催 日　　平成 29 年 11 月 8 日（水）17：00 ～ 17：50

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　6 名

議　　案　　公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの運営組織及び事業活動の状況に関する報告（案）の決定について

議事結果　　議案可決

⑹　第 6 回理事会

開 催 日　　平成 30 年 3 月 7 日（水）10：30 ～ 11：50

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　8 名

議　　案　・就業規則及び職員給与規程の一部改正の専決処分の報告について

・職員の育児休業等に関する規程の一部改正について

・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画（平成 30 年度～平成 32 年度）について

・平成 30 年度事業計画及び収支予算について

議事結果　　全議案可決

２　評議員会

⑴　臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 29 年 4 月 28 日（金）

議　　案　　監事の選任について（石井佳子氏を監事とする）

議事結果　　議案可決

⑵　定時評議員会

開 催 日　　平成 29 年 6 月 23 日（金）14：00 ～ 15：30

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　11 名

議案　　・平成 28 年度決算について

・評議員の選任について

・理事の選任について

・監事の選任について

・理事長及び専務理事の報酬額の決定について

議事結果　　全議案可決

平成 29（2017）年度実施事業
公益目的事業Ⅰ

日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、平成 2 年 10 月に設立、平成 5 年 10 月に労働省（現厚生労働省）の認可を受けて財団法人となり、平成 25 年 4 月 1 日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以来、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図るため、様々な活動を展開してきた。

平成 29 年度は、「あなたの老後、だれが看るの？」をテーマとする「第 28 回アジア女性会議－北九州」の開催や、政治・経済分野において女性の活躍が著しい台湾について学ぶ「KFAW 台湾スタディツアー 2017」を実施したほか、北九州市と共催で「2017　GSW ポストカンファレンス in 北九州」を開催した。

1　調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を発信した。また、KFAW アジア研究者ネットワークを充実させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

⑴　客員研究員研究

平成 29 年度は、3 組の客員研究員による調査研究を実施した（調査研究期間：平成 29 年度～30 年度）。

ア　H29 ／ H30 年度　KFAW 客員研究員と研究テーマ

㋐　テレワークによる女性活躍についての研究

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構客員主任研究員　　井原雄人

情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授　　湯淺墾道

学校法人九州国際大学法人事務局次長　　神力潔司

㋑　日中における幼児教育とジェンダー　－「教育家族」の中の父親役割－

奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター特任助教　　磯部香

大連外国語大学日本語学院専任講師　　黄一峰

㋒　持続可能な開発目標（SDGs）におけるジェンダー視点の主流化に関する研究

北九州サスティナビリティ研究所研究員　　織田由紀子

イ　研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』、『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

・『アジア女性研究』第 27 号　500 部
・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2017-1「アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会－台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に－」 100 部
・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2017-2「日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題：ジェンダーの視点からの分析」 100 部

『アジア女性研究』第 27 号

『KFAW 調査研究報告書』Vol.2017-1,2

ウ　研究報告会の開催

第 29 回 KFAW 研究報告会を開催して、研究成果を市民に発信した。

㈠　第 29 回 KFAW 研究報告会

①　日時　　平成 30 年 3 月 25 日（日）14:00 ～ 16:00
②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③　報告内容、報告者

(a)「日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題：ジェンダーの視点からの分析」
　鹿毛理恵（東京福祉大学国際交流センター特任講師）
　前山由香里（佐賀女子短期大学准教授）

(b)「アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会：台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に」
　田村慶子（北九州市立大学法学部教授）
　疋田京子（鹿児島県立短期大学准教授）

④　参加者　38 名

第 29 回 KFAW 研究報告会

⑵ KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア　アジア研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする研究の成果を共有するため、市民向けのセミナーを開催するとともに KFAW アジア研究者ネットワークの充実を図った。

⑺　平成 29 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

「イスラーム・ジェンダー学」科研（東京大学）との共催

①　テーマ　「イスラーム世界の結婚最前線」
②　日時　　平成 29 年 10 月 22 日（日）14:00 ～ 17:00
③　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
④　講師　　竹村和朗（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
　　嶺崎寛子（愛知教育大学准教授）
　　山﨑和美（横浜市立大学准教授）
　　大形里美（九州国際大学教授）
⑤　コメンテーター　阿部尚史（東京大学）
　　田中友紀（九州大学）
⑥　モデレーター　　田村慶子（北九州市立大学）
⑦　参加者　44 名
⑧　内容　　エジプト、イラン、インドネシアを例にイスラーム教徒の多様な結婚の状況を紹介

第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

⑺　平成 29 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

①　テーマ　「それでも息子がほしい－ネパールの男児選好の現在」
②　日時　　平成 29 年 12 月 15 日（金）14:00 ～ 16:00
③　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
④　講師　　佐野麻由子
　　（福岡県立大学人間社会学部准教授）
　　サンギータ　バンダリ
　　（ネパール NPO Sunrise Orphanage 代表）
⑤　参加者　29 名
⑥　内容　　ネパールで社会問題になっている女児の中絶についての人々の考えや社会的背景を紹介

第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

㈢　平成 29 年度第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

①　テーマ　「女性の人権から見る選択的夫婦別姓制度～女性差別撤廃条約と家族」

②　日時　　平成 30 年 2 月 4 日（日）14:00 ～ 16:00

③　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④　講師　　近江美保（長崎大学多文化社会学部教授）

⑤　参加者　33 名

⑥　内容　　女性の人権と深くかかわる夫婦同氏制についての最高裁判決を、女性差別撤廃条約に基づき日本が負っている法的義務の視点から検討

第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

イ　キャリア形成のためのプログラム開発

KFAW の研究者ネットワークを活用して、高校生のためのキャリア形成プログラムや製造業における女性活躍推進プログラムを実施した。

㈠　高校生のキャリア形成のためのプログラム

高校生のキャリア形成のために開発したプログラムを活用した講義を市内の高校で実施した。また、八幡西生涯学習総合センター、北九州市立大学と共同で、公募による高校生キャリア形成セミナーを開催した。

①　自由ケ丘高校での講義

(a)　日時　　平成 29 年 9 月 30 日（土）8:55 ～ 11:45

(b)　場所　　自由ケ丘高等学校

(c)　講師　　松本幸一（九州国際大学准教授）
　　山脇直祐（NPO 響都創研代表）

(d)　参加者　2 年生　467 名

高校生キャリア形成セミナー
（自由ヶ丘高校）

②　高校生キャリア形成セミナー（八幡西生涯学習総合センター、北九州市立大学との共同実施）

(a)　日時　　平成 29 年 7 月 8 日（土）、8 月 19 日（土）の 2 日間 16:00 ～ 18:15

(b)　場所　　北九州市立ユースステーション

(c)　講師　　ワークショップ：北九州市立大学地域創生学群の学生
　　ロールモデルトークセッション：
　　原大道（株式会社タカギ　人事課兼研究所準備室）
　　杉原美保（株式会社アジュレール　代表取締役）

(d)　参加者　高校生 55 名（公募）

高校生キャリア形成セミナー
（八幡西生涯学習総合センター、
北九州市立大学との共同実施）

(ｲ) 製造業における女性活躍推進プログラム

製造業における女性活躍を推進するため、企業向けと就職を希望する女性を対象に開発したプログラムを実施した。

① 企業向け講座用プログラム

北九州商工会議所の会員企業を対象に、女性活躍の必要性とメリットの例示、北九州市の女性活躍推進の現状に関する調査報告等を行うとともに、各企業における女性活躍の現状や課題等について意見交換を実施した。

＜企業向け講座の実施＞

(a) 日時　　平成 30 年 2 月 8 日（木）10:00 ～ 11:30

(b) 場所　　ムーブ会議室

(c) 報告者　吉村英俊（北九州市立大学教授）
　　神谷直秀、小笠原圭子（北九州市女性活躍推進課）

(d) 参加者　北九州商工会議所 会員企業 4 社

② 就職を希望する女性を対象にしたプログラム

就職を希望する女性を対象に、製造業での就労のメリットの紹介、女性の活躍事例紹介等を行うプログラムを利用して、ムーブが主催する「就職支援講座」において講義及び工場見学を行った。（ムーブの就業支援講座に記載）

2　交流・研修事業

「第 28 回アジア女性会議－北九州」や「2017　GSW ポストカンファレンス in 北九州」などを開催した。

(1)「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

ア　アジア女性会議－北九州

「あなたの老後、だれが看るの？～高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます～」をテーマに、「第 28 回アジア女性会議－北九州」を開催した。シンポジウムでは、京都大学大学院文学研究科准教授　安里和晃氏の基調講演に続いてパネルディスカッションを行い、台湾の長期介護や外国人介護労働者の状況、日本の介護施設の状況などの発表と意見交換を行った。

(ｱ) 国際シンポジウム『第 28 回アジア女性会議―北九州』の開催

① 日時　　平成 29 年 11 月 25 日（土）13:00 ～ 16:00

② 場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 参加者　　129 名

④ 基調講演　安里和晃（京都大学大学院文学研究科　准教授）

⑤ パネルディスカッション

＜パネリスト＞

安里和晃（京都大学大学院文学研究科　准教授）

李玉春　（（台湾）國立陽明大學衛生福利研究所　教授）

伊藤妙 （社会福祉法人青山里会　介護部門部長）
オプラス・ミア・レスリン
（特別養護老人ホーム第 2 渓山荘ぽっぽ　介護福祉士（フィリピン出身））
＜コーディネーター＞
堀内光子（KFAW 理事長）

⑥ 報告書の作成
『第 28 回アジア女性会議―北九州　報告書』

パネルディスカッション

質疑応答

イ　国際理解促進事業

世界の女性リーダーが集まる国際会議「GSW」が、日本で初めて開催されたのを機に、東京大会の登壇者等を招いて、「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」を北九州市と共催で開催した。また、「多様性の国・インドネシア講演会」などのセミナーを開催した。

㈠ 「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」

① 日時　　平成 29 年 5 月 15 日（月）15:00 ～ 19:45
② 場所　　ステーションホテル小倉
③ プログラム
第 1 部　GSW 東京大会リレートーク
＜登壇者＞
マリアンヌ・オンティベロス（エア・アジア・フィリピン会長）
マリリン・ジョンソン（元 IBM 副社長）
甲木正子（株式会社西日本新聞社福岡本社販売局企画開発部長）
＜モデレーター）
堀内光子（KFAW 理事長）
第 2 部　交流会＆ワークショップ
＜基調講演＞
小笠原浩（株式会社安川電機 代表取締役社長）
＜ワークショップファシリテーター＞
荒金雅子（株式会社クオリア 代表取締役）
④ 参加者　475 名

リレートーク

ワークショップ

㈠　第 61 回国連女性の地位委員会（CSW61）帰国報告会

①　テーマ　　CSW61 について

＜優先テーマ＞

「変わりゆく仕事の世界での女性の経済的エンパワーメント」

＜レビューテーマ＞

「女性・少女のミレニアム開発目標（MDGs）実施における課題と達成」（CSW58 回合意結論）

②　日時　　平成 29 年 6 月 23 日（金）　18:30 ～ 20:00

③　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④　講師　　堀内光子（KFAW 理事長）

岡坂明日花（BPW・CSW61 インターン派遣生）

⑤　参加者　　53 名

第 61 回国連女性の地位委員会
帰国報告会

㈡　国際理解セミナー「多様性の国・インドネシア講演会」

①　日時　　平成 29 年 8 月 27 日（日）14:00 ～ 16:00

②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③　講師　　ヘルピン・ドゥイジャヤンティ

④　参加者　　40 名

国際理解セミナー（インドネシア）

㈢　国際理解セミナー「微笑みの国・タイの社会と女性」

①　日時　　平成 30 年 1 月 27 日（土）　14:00 ～ 16:00

②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③　講師　　冨松寛考（タイ国政府観光庁大阪事務所 PR マネージャー）

和田ワサナ

（HAKATA 外国語スクール　タイ語講師）

④　参加者　　48 名

国際理解セミナー（タイ）

㈎　国際理解セミナー「聞かせて！スウェーデン人のパパ～北欧と日本の暮らし～」

①　日時　　平成 30 年 2 月 24 日（土）14:00 ～ 16:00
②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③　講師　　ヨアキム　キタザワ
（イケア福岡新宮店マネージャー）
古野陽一（NPO 法人子育ち・親育ちエンパワーメントセンター Bee 理事他）
④　参加者　　55 名

国際理解セミナー（スウェーデン）

㈏　スウェーデン大使館巡回写真展「スウェーデンのパパたち」

①　日時　　平成 30 年 2 月 20 日（火）～ 27 日（火）
②　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　交流広場
③　参加者　　553 名

⑵　海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、GOAL5（ジェンダー平等）を主とした幅広い海外拠点ネットワークの形成を目指し、ホームページを情報発信拠点としてリニューアルした。

⑶　海外派遣

平成 30 年 3 月にニューヨークで開催された第 62 回国連女性の地位委員会（CSW62）への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供した（派遣人数 16 名）。

⑷　スタディツアー

台湾女性の社会進出の現状と課題について学ぶ「KFAW 台湾スタディツアー 2017 ～台湾から学ぶ女性のエンパワーメント」を実施し、北九州市議会議員や大学教授、市民センター館長や国際 NGO のメンバーなどの 18 名が参加した。

ア　事前勉強会

㈎　日時　　平成 29 年 12 月 7 日（木）13：30 ～ 16：00
㈑　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
㈒　内容　　台湾の女性についての事前勉強会
㈓　講師　　宮崎聖子（福岡女子大学教授）
㈔　参加者　25 名

イ　スタディツアー

㈎　期間　　平成 30 年 1 月 17 日（水）～ 1 月 20 日（土）
㈑　場所　　台湾（台北市、台中市）
㈒　内容　　①台湾の歴史、台湾女性のこれまでの歩みや課題などを学ぶ
②働く女性をサポートする仕組みを学ぶ
③現地で活躍する女性たちとの懇談を行う

高齢者施設視察（全体説明）

㈀ 参加者　18 名

ウ　報告会

㈠ 日時　　平成 30 年 3 月 25 日（日）10：00 ～ 11：30

㈡ 場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

㈢ 内容　　台湾スタディツアー報告
　　参加者によるパネルディスカッション

㈣ 報告者　ツアー参加者 8 名

㈤ 参加者　37 名

エ　報告書の作成　200 部

3　情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、女性に関する情報収集やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

(1)　情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』（日本語・英語版）を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『アニュアルレポート 2016』を発行した。

ア　情報誌『Asian Breeze』の発行

㈠ 発行部数・発行回数・時期

第 80 号　平成 29 年 7 月（日本語版 4,000 部、英語版 2,400 部）

第 81 号　平成 29 年 11 月（日本語版 3,500 部、英語版 2,000 部）

第 82 号　平成 30 年 3 月（日本語版 3,500 部、英語版 2,000 部）

㈡ 送付先　　市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

『Asian Breeze』

イ　年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム　アニュアルレポート 2016』を発行した。

㋐　発行部数　　日本語版 350 部、英語版 50 部

㋑　発行時期　　平成 29 年 8 月（日本語版）、平成 30 年 3 月（英語版）

ウ　ホームページ、Facebook アクセス件数　　275,130 件

⑵　海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をリポートした。通信員から提出されたリポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebook などに掲載した。

ア　人数　　5 カ国 6 名（フィリピン、インドネシア、ネパール、ウガンダ、スリランカ）

イ　任期　　平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月

ウ　リポート回数　3 回

4　国際研修事業

⑴　JICA 研修　行政官のためのジェンダー主流化政策 2017

開発途上国における女性のエンパワーメントや男女共同参画社会の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成していくため、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2017」を 2 回実施した（独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA 九州）からの受託事業）。

ア　研修概要

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2017（A）＞

㋐　期間　　平成 29 年 5 月 31 日（水）～ 6 月 30 日（金）

㋑　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター　他

㋒　研修員　7 カ国 8 名（ブータン、フィジー、ガーナ、コソボ、ラオス、ミャンマー、パレスチナ）

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2017（B）＞

㋐　期間　　平成 30 年 1 月 15 日（月）～ 2 月 13 日（火）

㋑　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター　他

㋒　研修員　7 カ国 8 名（アフガニスタン、ブータン、カンボジア、レソト、モルディブ、パプアニューギニア、南スーダン）

保育園視察

研修の様子

イ　市民交流会の開催

研修員と学生や市民との市民交流会を開催した。

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2017（A）＞

北九州市立大学との共同企画で学生との交流会を実施した。

㈠　日時　　平成 29 年 6 月 21 日（水）13:30 ～ 17:30

㈡　場所　　北九州市立大学

㈢　参加者　28 名

市民交流会（北九州市立大学）

＜行政官のためのジェンダー主流化政策 2017（B）＞

JICA 九州で実施されている「クロスロード・コミュニケーション」の「異文化理解セミナー」において市民交流会を実施した。

㈠　日時　　平成 30 年 2 月 10 日（土）17:30 ～ 18:30

㈡　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター

㈢　参加者　53 名

異文化理解セミナー（JICA 九州）

公益目的事業Ⅱ

男女共同参画に関する事業を通して男女共同参画社会の形成を推進する事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 23 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。さらに、平成 28 年度から引き続き、平成 32 年度まで新たに 5 年間の指定管理の指定を受けている。平成 29 年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設 3 館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。

1　指定管理事業

⑴　男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブフェスタ 2017」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施している。

ア　男女共同参画等事業（24 事業、参加延人数 8,957 名）

㋐　ジェンダー問題講座（5 事業、参加延人数 3,465 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

①　男女共同参画講座

⒜「自分らしく生きる～飛鳥時代からの女性たちの生き方～」

講師：里中満智子（マンガ家）

⒝　ムーブ・レディス映画祭～女性たちの人間模様～

映画「湯を沸かすほどの熱い愛」上映会＆トーク

講師：樋口智巳（小倉昭和館館主）

②　おとこのライフセミナー

「理想の男女、理想の夫婦」

講師：姜尚中（政治学者）

③　キャリア形成プログラム

⒜　北九州市立大学

実施回数：1 回

講師：西本祥子（北九州市立男女共同参画センター所長）

城水裕美子（北九州市市民文化スポーツ局文化部文化企画課主査）

脇坂雄祐（北九州市財政局西部市税事務所納税課）

(b) 西南女学院大学
実施回数：2 回
講師：松本幸一（九州国際大学法学部准教授）
山脇直祐（NPO 響都創研代表）

(c) 九州共立大学
実施回数：2 回
講師：松本幸一（九州国際大学法学部准教授）
大島まな（九州女子大学人間科学部長）

(d) 九州国際大学
実施回数：3 回
講師：大島まな（九州女子大学人間科学部長）
湯淺墾道（情報セキュリティ大学院大学学長補佐）
山脇直祐（NPO 響都創研代表）

(e) 九州女子大学
実施回数：1 回
講師：山脇直祐（NPO 響都創研代表） ほか

(イ) 就業支援講座（13 事業、参加延人数 4,525 名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拡げるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

① 働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座（次世代リーダー養成講座）、フォローアップセミナー、ムーブカフェ
② 働くなでしこに贈る！お役立ちワンポイントセミナー
③ 夫婦で考えるハッピー仕事×子育て術
④ 女性のための就職応援講座～ものづくりの街・北九州でやりがいのある仕事を求めて～
⑤ 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）
⑥ パソコン講座 ほか

(ウ) 生活技術講座（6 事業、参加延人数 967 名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、介護男子、おとこの魅力アップシリーズ（パンづくり男子、アイロン男子、味噌づくり男子等））
② いまどきママのリフレッシュ講座 ほか

イ　市民活動支援・連携事業（4 事業、参加延人数 624 名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

㈠　ムーブ学生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

㈡　ムーブサポーター事業

㈢　ファミリークリスマス in 北九州　ほか

ウ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（4 事業、参加延人数 9,386 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

㈠　健康講座「心も身体もリフレッシュ！！シェイプアップヨガ」

㈡　ムーブ・レディス連携事業「健康のはなし～自分を感じてみよう」

㈢　フィットネスルームの個人利用　ほか

エ　ムーブフェスタ 2017

全体のテーマが「出会う」、キャッチコピーは「出会いから始まる明るい未来」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間　　平成 29 年 7 月 8 日（土）～ 29 日（土）

参加延人数　53,392 人

㈠　主催事業（5 事業）

①　オープニングイベント　講演会

「よろこびを力に・・・」

講師：有森裕子（元マラソンランナー）

②　イベントステージ

佐々木久美子さんトークショー

講師：佐々木久美子（IT 企業経営者）

プログラミング体験教室

協力：私たちの未来環境プロジェクト

③　行列のできる！？法律相談Q＆A

④　第 20 回ジェンダー問題調査・研究報告会

⑤　マガジンリサイクル

㈠　市民企画事業

①　総事業数　　112 事業

（イベント 72 事業、サマーカーニバル 11 事業、フリーマーケット 29 事業）

②　参加延人数　20,693 人

オ　相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害等について、相談員がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、弁護士による女性の人権に関する相談や法律基礎講座、相談に携わる方々を対象により質の高い支援を目指した対人援助職者セミナーなどを開催した。

また、KFAW で養成したデート DV 予防教育ファシリテーターのフォローアップをムーブで実施し、相談業務の実績を踏まえたデート DV 防止の指導者の育成に取り組んだ。

㈠　相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談・男性のための電話相談・弁護士による無料法律相談

区　　分	電話相談件数	面接相談件数	合　　計	
一般相談	3,239 件（3,143 件）	240 件　（338 件）	3,479 件（3,481 件）	3,963 件（4,127 件）
人権侵害相談	164 件　（257 件）	9 件　（10 件）	173 件　（267 件）	
女性のための元気アップ相談	49 件　（51 件）	106 件　（149 件）	155 件　（200 件）	
男性電話相談	38 件　（31 件）	—	38 件　（31 件）	
法律相談	—	118 件　（148 件）	118 件　（148 件）	

※（　）内は、平成 28 年度の相談件数

㈡　講座（5 講座、参加延人数 159 名）

①　女性のための法律基礎講座（2 回連続講座）

②　男性のための法律基礎講座

③　単発講座

「私がわたしのベストフレンド！～夢をかたちにするコラージュ療法～」

講師：黒瀬まり子（臨床心理士）

④－１　第 1 部　女性への暴力ゼロ運動特別講座

DV 問題を考える「若者の性を守ろう！」

講師：角田由紀子（弁護士）

宮本節子（ポルノ被害と性暴力を考える会世話人）

④－２　第 2 部　デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座

「デート DV って何？～若者のデートにひそむ『力と支配』～」

講師：角田由紀子（弁護士）

宮本節子（ポルノ被害と性暴力を考える会世話人）

発表者：リップルふくおか・DV 防止北九州メープルリーフの会

NPO 法人 FOSK　各団体代表者

㈢　対人援助職者セミナー（参加人数 98 名）

医療、福祉、教育などの対人援助職者を対象に、相談対応や知識の向上を図り、関係機関とのネットワークを深めることを目的に開催した。感情労働をテーマにグループワークを実施し、共感疲労を自覚することの大切さなどを学んだ。

「感情労働としての対人援助職（実践編）～ストレスマネジメント、セルフケア～」

講師：武井麻子（日本赤十字看護大学名誉教授・日本集団精神療法学会理事長）

㈣　ホットライン（相談件 38 件）

女性の人権に関する相談に弁護士などが直接電話で応じた。

①　女性への人権侵害相談ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】

②　女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性への暴力ゼロ運動」事業】

㈤　グループ相談（前期・後期 2 回開催　参加延人数 45 名）

①　中年期のあなたのためのグループ相談

50 代～ 60 代の女性を対象に、集まった仲間と共にこれからの人生を自分らしく豊かに暮らす方法を探る会を企画した。

②　私らしい選択～離婚と自立～

人生という長いスパンの中で、結婚生活や離婚問題において抱えてしまう課題等を冷静に見つめ、自立した自分になるために何ができるかを考える会を企画した。

㈥　自助グループへの支援（支援数 5 グループ、参加延人数 78 名）

会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

㈦　その他啓発（2 事業）

①　パネル展示「ワリかん！？ワリとかんたん！？男と女のいい関係」

②　パネル展示「デート DV について知ろう！」

カ　情報事業

㈠　情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

①　図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

ⓐ　蔵書数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

図書 55,908 冊、雑誌 76 種類、DVD102 本、ビデオ 212 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書や DVD 等の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況　　貸出冊数 46,113 冊、貸出者数 17,363 人

(b) 親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「お話し会」 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数　78 件（平成 30 年 3 月 31 日現在）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・ホームページ、Facebook アクセス件数　298,023 件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月 1 回配信した。

・ムーブメール登録者数　350 人（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題調査・研究支援事業

(a) 平成 29 年度ジェンダー問題調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者グループ等を支援するために、その調査費の一部（上限 30 万円）を助成。今年度は、1 事業を支援し、研究結果については、平成 30 年 3 月に報告書を発行した。

・テーマ：「建設産業の男女共同参画推進実態調査」

・市民グループ：たて子とちく子　代表　籠田淳子

(b) 第 20 回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）

・テーマ：「シェアハウスにおける新しい人間関係の形成－ひとり親家庭を中心に－」

・発表者：翁文静（九州大学　人間環境学府　博士）

・コメンテーター：葛西リサ（独立行政法人　日本学術振興会　特別研究員）

② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業

(a) ムーブ叢書　冊子『見つめよう、ココロとカラダ。』

現代の若年層の女性を取り巻く問題は、心の病気や思いがけない妊娠等さまざまであり、予防教育の充実が重要な課題となっている。若年層の女性が「自分の体は自分で守る」という意識を持つことが出来るように、また、手に取って読み易いように、デザインや構成に工夫を凝らしている。

・発行部数　1,000 部

・体裁等　　A5 版（無料）

(b) 「北九州市の男女共同参画統計データ」新規項目データを作成し、ホームページに掲載した。

・データ数　19 件

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数 41 名）

(a) 平成 28 年度に発行したムーブ叢書に関する啓発事業として、講演会を開催した。

・テーマ：「知らないって怖い！職場のハラスメント
～マタハラ問題からみる～
ハラスメントをなくして、誰もが働きやすい職場環境へ」

・講師　：小酒部さやか（㈱ natural rights 代表取締役）

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日　　82 号　平成 29 年 6 月 10 日
83 号　平成 29 年 10 月 1 日
84 号　平成 30 年 2 月 28 日

(b) 発行部数　各号 7,000 部

② 書誌情報誌『カティング・エッジ』の発行

(a) 発行日　　60 号　平成 29 年 6 月 10 日
61 号　平成 29 年 10 月 1 日
62 号　平成 30 年 2 月 28 日

(b) 発行部数　各号 3,000 部

キ　施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

㈠　施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

また、経済的効率化を図るため、館内の一部照明器具の LED 化工事を実施した。

㈡　貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

・平成 29 年度貸室利用人数　139,623 人

≪参考：総利用者数　248,688 人（うち主催事業参加延人数　109,065 人）≫

㈢　その他

①　視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数　9 件、延人数 69 人

②　講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数　　14 件、延人数 1,846 人

（うち 4 件 258 人　ハラスメント出前講座）

⑵　勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア　男女共同参画等事業（13 事業、参加延人数 665 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、DV・セクハラ防止、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

㈠　ジェンダー問題講座（9 事業、参加延人数 568 名）

①　ムーブ・レディス映画祭「六月燈の三姉妹」

②　ジェンダーワークショップ「絵本の世界から～絵本の中のジェンダー～」

③　セルフ・ディフェンス講座「女性のための防護術」

④　女性学講座「男女共同参画の視点から読み解く　夏目漱石（2 講座）」

⑤　心理学講座「アドラー心理学とコミュニケーション」　　ほか

㈠　DV・セクハラ防止啓発事業（1 事業、参加延人数 23 名）

①　デート DV 防止教室「お互いを尊重し合う関係を築こう」（出前講座）
対象：啓知高等学校 3 年生

㈡　ワーク・ライフ・バランス推進講座（2 事業、参加人数 64 名）

①「ワーク・ライフ・バランスについて」

②「楽しく働くスペシャリストからの招待状」

㈢　男性セミナー（1 講座、参加人数 10 名）

①「男の料理」

イ　就業支援講座（39 事業、参加延人数 3,319 名）

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

㈠　起業家支援（5 事業、参加延人数 189 人）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を行う。

①　ネットショップ開設入門講座

②　カフェのつくり方講座

③　小商いの始め方講座

④　SNS 入門講座①、②

㈡　キャリアアップ講座（7 事業、参加延人数 665 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。

①　行政書士入門講座

②　司法書士入門講座

③　給与計算・社会保険事務講座

④　魅力がアップする話し方　基礎講座

⑤　TOEIC 検定講座　　ほか

㈢　再就職支援事業（5 事業、参加延人数 26 名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

①　就職活動セミナー　3 事業

②　再就職支援セミナー「就職に役立つより良い家族関係と生活設計」 1 事業

③　適職発見ワークショップ　1 事業

㈀ パソコン講座 （18 事業、参加延人数 1,789 名）

① ワード・エクセル基礎・応用講座
② Jw － cad 講座
③ エクセル 2 級・3 級検定講座
④ ビジネス速習「ワード・エクセル基礎・応用」
⑤ 働く人のためのエクセル「マクロ & VBA 編」
⑥ 弥生会計　　ほか

㈁ 資格取得講座（3 事業、参加延人数 640 名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

① 日商簿記 3 級検定講座
② 行政書士試験対策講座
③ 調理師受験準備講座

㈂ その他（1 事業、参加人数 10 名）

① 働く人のための「味噌作り」講座

ウ 生活技術講座（15 事業、参加延人数 676 名）

㈠ 子育て支援事業（6 事業、参加延人数 252 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

① 親子ワクワク教室（前期・後期）
② ベビーマッサージ
③ 人形ボードヴィル　～笑顔の宅配便～
④ バレンタインの菓子つくり　　ほか

㈡ 生活技術講座（9 事業、参加延人数 424 名）

家族の健康、家庭生活（料理）、英会話などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実を目的とした講座を開催した。

① 英会話
② 季節の寄せ植え　　ほか

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（7 事業、参加延人数 466 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

① 東洋医学の知恵
② 骨盤矯正ダイエット
③ 3 館連携リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座「骨粗しょう症の話と予防体操」
ほか

オ　市民活動支援・連携事業（16 事業、参加延人数 2,004 名）

㈠ 市民企画事業（8 事業、参加延人数 689 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

① 「女と男の落語寄席」
② 「尺八と津軽三味線コンサート」　　ほか

㈡ 友の会育成事業（4 事業、参加延人数 799 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

① 開館 30 周年記念　　第 30 回フェスティバル　　ほか

㈢ 国際交流事業（1 事業、参加人数 50 名）

外国の音楽を通して、文化や楽器に触れ、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

① 「アフリカ マコンデ族の音楽と文化交流コンサート」

㈣ 託児ボランティア・図書ボランティア　（3 事業、参加延人数 466 名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多くの情報を提供した。

① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」
② 図書ボランティア「リブロ」　　ほか

カ　開館記念講演会（1 事業、参加人数 353 名）

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

㈠ 開館 30 周年記念講演会「旅はこころのままに」

講師：榎木孝明（俳優）

キ　相談事業（2 事業、相談延人数 9 名）

㋐　女性のための相談室

㋑　女性のための無料法律相談

ク　情報提供事業（1 事業）

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て、図書の貸出し事業を行っている。

・貸出冊数　1,806 冊

【レディスやはた】

ア　男女共同参画等事業（13 事業、参加延人数 750 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、ライフインベントリー、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

㋐　ジェンダー問題講座（8 事業、参加延人数 538 名）

①　ムーブ・レディス映画祭「フラガール」

②　ジェンダーワークショップ「ジェンダーって何？」

③　DV 防止啓発セミナー「デート DV って何？」

④　自分と向き合うストレスケア法　　ほか

㋑　ワーク・ライフ・バランス推進講座（2 事業、参加延人数 42 名）

①　仕事が楽になるスキル講座「ワードでチラシ作成」

②　ライフインベントリーセミナー「Let's 人生の棚おろし！」

㋒　男性セミナー（2 事業、参加延人数 120 名）

①　男性料理教室　初級・中級

㋓　メディアリテラシー講演会（1 事業、参加人数 50 名）

①「北九州・ロケ地によるまちづくり～働く女性と映画～」

イ　就業支援講座（19 事業、参加延人数 3,257 名）

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

㈠　起業家支援講座（6 事業、参加延人数 652 名）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を実施した。

①　リンパドレナージ養成講座　初級・中級
②　ハンドメイドでプチ起業　初級・中級
③　魅力がアップする話し方講座　入門・活用編

㈡　キャリアアップ事業（3 事業、参加延人数 628 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

①　TOEIC 試験対策講座
②　英語実力培訓講座
③　社会保険労務士入門講座

㈢　就業継続支援事業（2 事業、参加延人数 205 名）

①　経済学講座「世界経済から学ぶ財産防衛」
②　美文字～くせ字よさよなら～

㈣　再就職支援事業（1 事業、参加延人数 50 名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

①　魅せるパワーポイント～中級

㈤　資格取得講座（7 事業、参加延人数 1,722 名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

①　社会保険労務士試験対策講座
②　宅地建物取引士試験対策講座
③　2 級・3 級ファイナンシャル・プランニング技能検定講座
④　日商簿記 2 級・3 級検定講座
⑤　年金アドバイザー 3 級検定講座

ウ　生活技術講座（12 事業、参加延人数 729 名）

㈠　子育て支援事業（6 事業、参加延人数 323 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

①　わらべの日事業「親子でパン教室　前期①②・後期」
②　父と子のふれあいクッキング「パパと仲良しピザづくり」
③　親子で作ろう！「プラ板でネームキーホルダー」
④　親子料理教室「パティシエに習うバレンタインスイーツ」

㈡　生活技術事業（6 事業、参加延人数 406 名）

食や英会話、趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。

①　シェフの季節の料理教室　洋風おせち料理、和食料理
②　焼きたてパンでナイト・ブランチ
③　暮らしの美文字レッスン
④　パーカー先生の旅行英会話

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（13 事業、参加延人数 1,237 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

㈠　健康講座

①　骨盤調整ピラティス講座
②　自分を好きになるメイク術
③　バランスボール講座
④　フラダンス講座
⑤　ムーブ・レディス連携事業「あなたの腸は大丈夫！腸を整えて元気な毎日を」　　ほか

オ　市民活動支援・連携事業（12 事業、参加延人数 6,687 名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、レディスやはたを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

㈠　市民企画事業（5 事業、参加延人数 392 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

①　落語と紙切り
②　能舞台でジャズ
③　狂言「柿山伏」
④　ムーブフェスタへの参加　　ほか

㈠　友の会育成事業（2 事業、参加延人数 5,683 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

①　レディスやはたフェスティバル

②　利用者の会バスハイク「九州北部水害地域訪問ツアー」

㈡　国際交流事業（2 事業、参加延人数 154 名）

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

①　狂言「附子」

②　JICA 研修員との国際交流「外国人と聴く伝統芸能～和太鼓、大正琴」

㈢　託児ボランティア（3 事業、参加延人数 458 名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

①　託児ボランティア「えくぼの会」

②　保育サポーター養成講座「心肺蘇生、AED 使用訓練」　　ほか

カ　開館記念講演会（1 事業、参加人数 199 名）

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

㈠　開館 40 周年記念講演会　「夢を追い続けて…」

講師：内村周子（体操クラブ指導者、選手）

キ　相談事業（2 事業、相談延人数 47 名）

㈠　女性のための相談室

㈡　女性のための無料法律相談

ク　情報提供事業（3 事業）

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。

㈠　男女共同参画啓発「お母さんが語る女子差別撤廃条約」パネル展示

㈡　ひまわり文庫・雑誌貸出し　1,293 冊　　ほか

【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア　施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

イ　貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

・レディスもじ　　平成 29 年度貸室利用人数　92,015 人

≪参考：総利用者数　115,288 人（うち主催事業参加延人数　23,273 人）≫

・レディスやはた　平成 29 年度貸室利用人数　74,915 人

≪参考：総利用者数　106,295 人（うち主催事業参加延人数　31,380 人）≫

２　自主事業

⑴　男女共同参画センター自主事業

ア　男女共同参画講座（英会話）

イ　就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座　等）

ウ　生活技術講座（夏休み親子木工教室）

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（シェイプアップヨガ　等）

⑵　勤労婦人センター自主事業

ア　就業支援講座（資格取得講座、パソコン講座　等）

イ　生活技術講座（英会話　等）

ウ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（骨盤体操講座　等）

平成 29 年度　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ利用状況

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

区分 / 室名		開所日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人） 主催事業	（男性内数）	貸室利用	（男性内数）	総利用者数	（男性内数）
ホール		343	147	42.9%	6,151	1,651	25,457	9,023	31,608	10,674
大セミナールーム		343	203	59.2%	1,608	230	15,968	7,114	17,576	7,344
小セミナールーム		343	248	72.3%	1,947	194	5,690	2,613	7,637	2,807
企画ルーム１		343	266	77.6%	264	58	3,923	1,405	4,187	1,463
企画ルーム２		343	294	85.7%	841	193	2,296	658	3,137	851
料理室		343	201	58.6%	1,050	680	1,584	235	2,634	915
和室（茶室兼備）		343	266	77.6%	319	49	2,862	708	3,181	757
茶室（立礼形式）		343	55	16.0%	18	2	391	161	409	163
ﾌｨｯﾄﾈｽﾙｰﾑ	専用	343	252	73.5%	161	1	521	41	682	42
	個人				9,258	1,754	—	—	9,258	1,754
	小計				9,419	1,755	521	41	9,940	1,796
工芸室	専用	343	244	71.1%	488	164	2,347	257	2,835	421
	個人				0	0	—	—	0	0
	小計				488	164	2,347	257	2,835	421
OA ルーム	専用	343	212	61.8%	2,528	411	0	0	2,528	411
	個人				677	339	—	—	677	339
	小計				3,205	750	0	0	3,205	750
グループ活動室		343	337	98.3%	1,304	226	8,112	3,698	9,416	3,924
こどもの部屋		343	243	70.8%	763	218	193	68	956	286
交流広場		343	343	100.0%	38,051	7,561	70,279	28,197	108,330	35,758
相談室		—	—	—	4,193	476	—	—	4,193	476
図書・情報室		—	—	—	39,444	23,666	—	—	39,444	23,666
合　計		—	—	—	109,065	37,873	139,623	54,178	248,688	92,051

男性利用率　37.0%

（参考）・前年度（H28 年度）…… 217,201 人　（内男性 78,189 人）　（男性利用率　36.0%）

内訳　主催　110,991 人　（内男性　37,483 人）

内訳　貸室　106,210 人　（内男性　40,706 人）

開所からの利用者累計（H7.7 ～ H30.3 月）…… 6,522,087 人

講師派遣参加者数・視察受入数　（外数）

		平成 29 年度累計（H29.4 月～ H30.3 月） 件数	人数	平成 28 年度累計（H28.4 月～ H29.3 月） 件数	人数
講師派遣参加者数	施設運営課受付※1	4 件	258 人	2 件	63 人
	事業課主催講座※2	10 件	1,588 人	15 件	1,842 人
	小計	14 件	1,846 人	17 件	1,905 人
視察受入数		9 件	69 人	9 件	120 人
合　計		**23 件**	**1,915 人**	**26 件**	**2,025 人**

※ 1　ハラスメント研修、男女共同参画講演等講師派遣
※ 2　キャリア形成プログラム等講師派遣

平成 29 年度　東部勤労婦人センター（レディスもじ）利用状況

区分 / 室名		開館日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人）			前年比
					主催事業	貸室利用	計	
第 1 講習室		293	243	83%	1,284	3,508	4,792	92%
第 2 講習室		293	164	56%	2,423	3,371	5,794	104%
料理講習室		293	115	39%	895	1,027	1,922	95%
和室		293	240	82%	1,507	5,755	7,262	100%
音楽室		293	216	74%	6,630	3,691	10,321	107%
体育室	専用	293	176	60%	3,303	3,518	6,821	114%
	個人	293	256	87%	—	3,714	3,714	78%
	小計	293	432	147%	3,303	7,232	10,535	98%
トレーニング室		293	291	99%	1,265	6,050	7,315	96%
情報資料室		293	294	100%	2,925	17,129	20,054	92%
談話室		293	295	101%	—	44,231	44,231	112%
託児室		293	128	44%	702	21	723	64%
相談室		293	41	14%	211	—	211	69%
その他		293	19	6%	2,128	—	2,128	101%
合　　計		—	—	—	**23,273**	**92,015**	**115,288**	**102%**

男性の利用状況（内数で表示）	主催事業	貸室利用	計	前年比
	3,846	**16,184**	**20,030**	**90%**

平成 29 年度　西部勤労婦人センター（レディスやはた）利用状況

区分 / 室名		開館日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人）			前年比
					主催事業	貸室利用	計	
第 1 講習室		293	167	57%	3,697	2,716	6,413	83.8%
第 2 講習室		293	150	51%	2,972	4,249	7,221	102.3%
第 3 講習室		293	224	76%	6,415	6,084	12,499	102.5%
料理講習室		293	97	33%	3,949	1,236	5,185	97.1%
和室 1		293	162	55%	3,542	5,721	9,263	117.4%
和室 2		293	207	71%	3,542	5,614	9,156	119.7%
舞台ホール		293	155	53%	3,348	5,515	8,863	106.2%
体育室	専用	293	152	52%	3,482	3,758	7,240	70.7%
	個人	293	125	43%	—	897	897	98.1%
	小計	293	239	82%	3,482	4,655	8,137	73.0%
ロビー		293	295	101%	—	38,027	38,027	98.3%
託児室		293	87	30%	228	707	935	82.8%
相談室		293	22	8%	85	—	85	68.0%
その他		293	11	4%	120	391	511	68.0%
合　　計		—	—	—	**31,380**	**74,915**	**106,295**	**98.4%**

男性の利用状況（内数で表示）	主催事業	貸室利用	計	前年比
	6,244	**24,727**	**30,971**	**93.8%**

収益事業等

その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業

【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

【概況】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

法人事業

法人事業

【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行った。また、フォーラムサポーター活動の推進や賛助会員の加入を促進した。

1　理事会・定時評議員会の開催

理事会を 6 回（うち 2 回はみなし決議）及び定時評議員会、臨時評議員会（みなし決議）を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第 1 回理事会　　平成 29 年 4 月 14 日みなし決議
第 2 回理事会　　平成 29 年 6 月 7 日開催
第 3 回理事会　　平成 29 年 6 月 23 日みなし決議
第 4 回理事会　　平成 29 年 9 月 26 日開催
第 5 回理事会　　平成 29 年 11 月 8 日開催
第 6 回理事会　　平成 30 年 3 月 7 日開催

臨時評議員会　　平成 29 年 4 月 28 日みなし決議
定時評議員会　　平成 29 年 6 月 23 日開催

2　情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウィルスやハッキングなどを未然に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

3　フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員加入の促進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。

また、多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めた。

【平成 29 年度実績】会費収入　657,000 円

区　分	年額（1 口）	加入人数	加入口数
個　人	3,000 円	135 名	136 口
団　体	20,000 円	12 件	12 口
学　生	1,500 円	6 名	6 口

財務諸表

貸借対照表内訳表

平成 30 年 3 月 31 日現在　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ　資産の部					
1．流動資産					
現金預金	47,078,775	2,002,601	7,219,894		56,301,270
未収金	1		78,416		78,417
貯蔵品	2,943,358				2,943,358
仮払金	239,000	0	0		239,000
流動資産合計	50,261,134	2,002,601	7,298,310	0	59,562,045
2．固定資産					
(1)基本財産					
定期預金	3,191		3,191		6,382
投資有価証券	164,669,696		164,669,695		329,339,391
基本財産合計	164,672,887		164,672,886		329,345,773
(2)特定資産					
特定資産合計					
(3)その他固定資産					
什器備品	657,912				657,912
電話加入権	245,000		245,000		490,000
出資金	25,000		25,000		50,000
その他固定資産合計	927,912		270,000		1,197,912
固定資産合計	165,600,799		164,942,886		330,543,685
資　産　合　計	215,861,933	2,002,601	172,241,196	0	390,105,730
Ⅱ　負債の部					
1．流動負債					
未払金	18,369,604	2,002,601	946,228		21,318,433
前受金	1,110,696				1,110,696
預り金	1,757,285		65,946		1,823,231
仮受金	21,488				21,488
流動負債合計	21,259,073	2,002,601	1,012,174	0	24,273,848
2．固定負債					
固定負債合計					
負　債　合　計	21,259,073	2,002,601	1,012,174	0	24,273,848
Ⅲ　正味財産の部					
1．指定正味財産					
市補助金	150,000,000		150,000,000		300,000,000
寄付金	11,583,048		11,583,047		23,166,095
指定正味財産合計	161,583,048		161,583,047		323,166,095
（うち基本財産への充当額）	(161,583,048)		(161,583,047)		(323,166,095)
（うち特定資産への充当額）					
2．一般正味財産	33,019,812	0	9,645,975		42,665,787
（うち基本財産への充当額）	(3,089,839)		(3,089,839)		(6,179,678)
（うち特定資産への充当額）					
正味財産合計	194,602,860	0	171,229,022		365,831,882
負債及び正味財産合計	215,861,933	2,002,601	172,241,196	0	390,105,730

正味財産増減計算書内訳表

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計			収益事業等会計		小　計	法人会計	合　　計
	日本及びアジア地域の女性の地位向上を図る事業	男女共同参画社会の形成を推進する事業	小　計	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業			
Ⅰ　一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	1,801,860		1,801,860				1,801,861	3,603,721
受取会費	328,500		328,500				328,500	657,000
事業収益	122,770		122,770				5,000	127,770
指定管理施設自主事業費収益		14,696,188	14,696,188					14,696,188
委託料収益	6,171,868		6,171,868					6,171,868
北九州市委託金収益		285,169,431	285,169,431	40,793,493	15,731,676	56,525,169		341,694,600
受取補助金等	32,987,453		32,987,453				21,270,173	54,257,626
雑収益	533,732	69,600	603,332				160,214	763,546
経常収益計	41,946,183	299,935,219	341,881,402	40,793,493	15,731,676	56,525,169	23,565,748	421,972,319
(2)経常費用								
事業費	44,844,524	314,554,707	359,399,231	40,793,493	15,731,676	56,525,169		415,924,400
管理費							23,565,748	23,565,748
経常費用計	44,844,524	314,554,707	359,399,231	40,793,493	15,731,676	56,525,169	23,565,748	439,490,148
当期経常増減額	▲ 2,898,341	▲ 14,619,488	▲ 17,517,829	0	0	0	0	▲ 17,517,829
2．経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計								
(2)経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	▲ 2,898,341	▲ 14,619,488	▲ 17,517,829	0	0	0	0	▲ 17,517,829
一般正味財産期首残高	11,947,655	38,589,986	50,537,641	0	0	0	9,645,975	60,183,616
一般正味財産期末残高	9,049,314	23,970,498	33,019,812	0	0	0	9,645,975	42,665,787
Ⅱ　指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	3,603,721		3,603,721					3,603,721
一般正味財産への振替額	3,603,721		3,603,721					3,603,721
当期指定正味財産増減額	0		0					0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
Ⅲ　正味財産期末残高	170,632,362	23,970,498	194,602,860	0	0	0	171,229,022	365,831,882

財務諸表に対する注記

平成 30 年 3 月 31 日現在

1．継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2．重要な会計方針

⑴ 「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日　平成 26 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。

⑵ 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得原価

⑶ 固定資産の減価償却方法
什器備品・・・定率法
無形固定資産・・・定額法

⑷ 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,382	0	0	6,382
投資有価証券	329,339,391	0	0	329,339,391
小　計	329,345,773	0	0	329,345,773
合　計	329,345,773	0	0	329,345,773

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	6,382	－	(6,382)	－
投資有価証券	329,339,391	(323,166,095)	(6,173,296)	－
小　計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	－
合　計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	－

5．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	10,994,789	10,336,877	657,912
小　計	10,994,789	10,336,877	657,912
合　計	10,994,789	10,336,877	657,912

６．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

（単位：円）

科　目	帳簿価額	時　価	評価損益
投資有価証券			
29 神奈川県 20 年債	200,000,000	225,580,000	25,580,000
第 311 回 10 年国債	99,755,000	102,290,000	2,535,000
新潟県 25 年度第 1 回公債	20,000,000	20,676,660	676,660
第 61 回利付国債 20 年	9,484,391	10,078,841	594,450
155 共同発行地方債	100,000	100,750	750
合　計	329,339,391	358,726,251	29,386,860

７．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金	北九州市	300,000,000	0	0	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	0	54,257,626	54,257,626	0	一般正味財産
合　計		300,000,000	54,257,626	54,257,626	300,000,000	

８．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　容	金　額
経常収益への振替額	
基本財産利息（29 神奈川県 20 年債）	2,578,000
基本財産利息（第 311 回 10 年国債）	800,000
基本財産利息（新潟県 25 年度第 1 回公債）	130,000
基本財産利息（第 61 回利付国債 20 年）	95,500
基本財産利息（155 共同発行地方債）	220
基本財産利息（福岡銀行定期預金）	1
小　計	3,603,721
合　計	3,603,721

９．関連当事者との取引の内容

該当なし

10．重要な後発事象

該当なし

資　　料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

1989年8月23日　北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業)」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が 101 の案の中から選定される。

11月 1 日　アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。

12月26日　基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。

1990年 1 月19日～ 21日　東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。

2 月11日～ 3 月24日　北九州市の 7 区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。

3 月30日　基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。

3 月31日　「'90 アジア国際シンポジウム」（テーマ：アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう）を開催する。

6 月～ 9 月　第 1 回アジアセミナーを開催する。（～ 2000 年まで毎年開催）

7 月 5 日　アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。

7 月23日　アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。

10月20日　**アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子）

10月20日　アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。

10月　共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。

1991年 3 月 9 日～ 10日　「第 1 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：アジアと女性の今）を開催する。（以後毎年開催）

3 月　情報誌『Asian Breeze』創刊

4 月　プロジェクト研究事業が開始される。

5 月　海外通信員制度始まる。（以後毎年実施）

12月 1 日～ 2 日　「第 2 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：政策決定における女性）を開催する。

1992年3月18日～ 27日　「第 1 回女性の地位向上のための行政官セミナー（2002 年からは「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」、2010 年からは「行政官のためのジェンダー主流化政策」に名称変更)」（JICA の委託事業）を開催する。（以後毎年開催）

7 月24日　1993 年 10 月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。

11月13日～ 15日　「第 3 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：環境と開発と女性）を開催する。

11月24日　国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

1993年３月　『アジア女性シリーズ』第１号が発刊される。（中国）

５月　「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。

９月17日　財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。

９月22日　労働省より、財団法人としての設立を許可される。

10月１日　**財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子）

11月19日～21日　「第４回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球の未来と人口）を開催する。

1994年２月８日　高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

４月　共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。

９月１日～８日　第１回海外通信員セミナーを開催する。

11月18日～20日　「第５回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と家族）を開催する。

1995年４月１日　北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。

６月15日　事務所を北九州市大手町ビルに移す。

６月22日　第２代理事長に奥田八二氏が就任する。

７月１日～８日　北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。

９月４日～11日　国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第４回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGO フォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。

11月17日～19日　「第６回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と労働）を開催する。

1996年２月16日～３月21日　「第１回環境と開発と女性セミナー」（JICA の委託事業）を開催する（～ 2008 年まで毎年開催）

11月15日～17日　「第７回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性とメディア）を開催する。

1997年１月　ホームページを開設する。

４月１日　三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

９月22日　「客員研究員制度」を設置する。

11月７日～９日　「第８回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と教育）を開催する。

1998年３月24日　第３代理事長に高橋久子氏が就任する。

６月　「国際協力カレッジ」を開催する。

10月10日　財団設立５周年記念事業を実施する。

11月７日～８日　「第９回アジア女性会議―北九州」（テーマ：ジェンダーの視点の主流化（メインストリーム）をめざして）を開催する。

12月12日～13日　地球市民教育地域セミナーを開催する。

1999年 4 月12日　「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。

9 月　「フォーラム懇話会」を実施する。

10月17日～ 31日　「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。

11月 6 日～ 7 日　「第 10 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：男女共同参画の世紀を拓く～女性 2000 年会議とその後～）を開催する。

2000年 1 月 9 日～ 15日　「女性起業家スタディツアー」（アメリカ　サンフランシスコ）を実施する。

6 月 5 日～ 9 日　国連特別総会「女性 2000 年会議―21 世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。

6 月 5 日～ 8 日　「女性 2000 年会議」に関連した NGO のシンポジウム「北京＋ 5 グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。

9 月 3 日　北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議（第 11 回アジア女性会議―北九州）」を開催する。

11月　自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。

12月28日　理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。

2001年 2 月25日～ 3 月 5 日　「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。

4 月 1 日　原ひろ子氏が初代会長に、第 4 代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。

7 月26日～ 28日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国　北京）」に参加する。

7 月～ 9 月　北九州博覧祭 2001 の関連事業を実施する。
・JICA 研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」
・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」

9 月12日～ 16日　「第 1 回北東アジア女性環境会議（韓国　ソウル）」に参加する。

10月 6 日～ 7 日　「第 12 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて）を開催する。

11月24日～ 12月 1 日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア　プノンペン）」に参加する。

11月28日～ 12月 2 日　「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1 を開催する。

2002年 1 月18日　環境シリーズセミナー「リオ＋ 10　ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。

2 月 9 日～ 17日　北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。

3 月 1 日～ 10日　第 46 回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

3 月22日　アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。

3 月23日～ 4 月 5 日　「WSSD 第 3 回準備会合（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。

3 月25日～ 30日　「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。

4月1日　北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。

7月　国連経済社会理事会のNGO協議資格を九州で初めて取得する。

7月31日　国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞する。

8月23日～9月5日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性NGOとワークショップを開催する。

10月12日～14日　日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環境会議（第13回アジア女性会議―北九州）」を北九州市と東京で開催する。

2003年3月2日～16日　第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

3月16日～21日　第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。

5月　「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAWカレッジ」を開催する。

5月17日　北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。

10月11日　財団設立10周年記念事業を実施した。

12日　「第14回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性のエンパワーメントとICT）を開催する。

2004年2月26日～3月13日　第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

6月29日～7月4日　「アジア太平洋NGOフォーラム」参加スタディツアー（タイ　バンコク）を実施する。

9月7日～10日　国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ　バンコク）に参加する。

11月6日～7日　「第15回アジア女性会議―北九州」（テーマ：北京+10に向けて　人間の安性保障とジェンダー）を開催する。

2005年2月28日～3月6日　第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京+10」閣僚級会合（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

11月5日～6日　「第16回アジア女性会議―北九州」（テーマ：歴史を拓いた女性たち）を開催する。

12月7日　『北九州市女性の100年史　おんなの軌跡　北九州』を発刊する。

2006年1月16日～23日　「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。

2月27日～3月10日　第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

2月19日　「ノーベル平和賞受賞者　ワンガリ・マータイさんと語る　北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共催）する。

4月1日　北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。

9月28日　北九州ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。

10月　環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。

10月15日　『新聞にみる北九州市女性の100年史　おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

11月11日～12日　北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。

11月18日～19日　「第17回アジア女性会議―北九州」（テーマ：公正で豊かな未来を創る～持続可能な開発のための教育とは～）を開催する。

12月5日　国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点（RCE）」に認定される（日本で4番目）。

2007年2月26日～3月9日　第51回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月1日～8日　「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー（オーストラリア）」を実施する。

4月1日　原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。
北九州ESD協議会の事務局となる。

10月12日～16日　持続可能な開発のための教育（ESD）をテーマにスタディーツアー（韓国）を実施する。

11月10日～11日　「第18回アジア女性会議―北九州」（テーマ：つながる ひろがる 地球の未来）を開催する。

12月14日　在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。

2008年2月22日～3月7日　第52回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月10日～12日　海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。

4月　KFAWアジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。

5月26日　仁川YWCAの一行（11名）が来北する。

6月25日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）主催の国際会議に参加・日本の現状を発表する。

9月6日　財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。

11月15日　CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。

11月15日～16日　「第19回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球を食べる、地球で食べる―あなたは食を通して何を考えますか？）を開催する。

2009年2月27日～3月6日　第53回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、KFAW主席研究員がサイドイベントで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。

3月31日　北九州ESD協議会事務局が北九州市環境局に移管される。

4月1日　三隅佳子氏が顧問に就任する。

6月　ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ（KFAWアジア研究者ネットワーク）。

8月6日　北九州YMCAとロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行（7名）との交流プログラムを実施する。

8月10日　在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ；アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。

9月13日　第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ―ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。

9月29日　北九州市・大連市友好協定30周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ（KFAW）を訪問する。

10月26日　在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。

11月 2 日　CWPDI と学術交流協定を締結する。

11月28日～ 29日　「第 20 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：現在（いま）、世界の女性たちは―北九州から世界を視（み）る―）を開催する。

2010年 2 月26日～ 3 月 7 日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3 月 1 日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の経験から」を開催する。

6 月 1 日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同で、2010 CWPDI 開院 11 周年韓日共同セミナー（第 3 回日韓共同セミナー）「韓日女性の地域における政治参加の拡大政策」を韓国で開催する。

7 月30日　中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。

7 月　大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。

10月　東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。

11月13日～ 14日　「第 21 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：世界の子育て―子ども・親・社会のカタチ―）を開催する。

2011年 1 月22日　北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。

1 月～ 2 月　KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。（全 4 回）

2 月26日～ 3 月 3 日　第 55 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、サイドイベント「日本において農林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリストとして発表する。

4 月 1 日　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。

8 月　市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。（～ 2012 年 3 月）

8 月31日　学術交流協定締結機関　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）を訪問する。

9 月 1 日　韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。

11月26日～ 27日　「第 22 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：災害と向き合う―東日本大震災から学ぶ）を開催する。

11月27日　KFAW 日韓共同研究報告会（第 4 回日韓セミナー）「子育て支援ネットワーク―日韓比較」を開催する。

12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。

2012年 2 月26日～ 3 月 4 日　第 56 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「日本の農村女性のエンパワーメント―経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。

11月10日　「第 23 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：力を合わせよう―女性、女児への暴力をなくすために）を開催する。

12月 8 日　第 23 回 KFAW 研究員報告会を開催する。

2013年 2 月 2 日　ワールドリポート（第 5 回日韓セミナー）「日韓米の多文化共生」を開催する。

3 月 2 日～ 8 日　第 57 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「アジア女性交流・研究フォーラムのデート DV/DV 防止に向けた取り組み」を開催する。

4 月 1 日　**公益財団法人に移行**
第 6 代理事長に堀内光子氏が就任する。

8 月10日　DV 防止講演会／デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

9 月～ 10月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学 3 校で試験的に実施する。

11月 9 日　財団設立 20 周年記念事業として、「第 24 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の活躍が日本、世界を変える）を開催する。

11月10日　財団設立 20 周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。

2014年 2 月 2 日　第 24 回 KFAW 研究員報告会を開催する。

2 月23日～ 3 月 2 日　KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

4 月11日　第 58 回国際女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。

5 月～ 12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学 5 校で実施する。

8 月10日　DV 防止講演会／デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

10月20日～ 22日　仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及び交流会に参加する。

12月 3 日～ 5 日　ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合を開催する。

12月 6 日　「第 25 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の働き方としての起業）を開催する。

2015年1月22日～ 25日　海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とした国際交流プログラムを実施する。

2 月 7 日　第 25 回 KFAW 研究報告会を開催する。

2 月23日～ 3 月 4 日　KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

5 月15日　第 59 回国連女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。

6 月～ 12月　キャリア形成プログラムを市内大学 4 校及び市内高校 1 校で実施する。

6 月12日　第 26 回 KFAW 研究報告会を開催する。

9 月 5 日～ 12日　KFAW スタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。

9 月19日　DV 防止講演会／デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

10月～ 2016年3月　「市内製造業の女性活躍推進に関する調査」を実施する。

10月31日　「第 26 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の活躍推進に向けて～アジアと連携して）を開催する。

11月 1 日　ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。

2016年 1 月23日　ワールドリポート「いま、世界の女性たちは～世界の行政官を囲んで～」を開催する。

2 月14日　第 27 回 KFAW 研究報告会を開催する。

5月19日　第60回国連女性の地位委員会（CSW60）帰国報告会を開催する。

7月8日　WWAS国際会議フォローアップ会議　北九州タウンミーティング（テーマ：高齢化する社会と地域における女性の活躍）を開催する。

9月6日～10日　ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー2016」を実施する。

9月～11月　高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び八幡西生涯学習総合センターで実施する。

11月26日　「第27回アジア女性会議―北九州」（テーマ：“誰一人取り残さない”世界の実現～SDGs（持続可能な開発目標）の達成のために何ができるか）を開催する。

12月14日～16日　「KFAW仙台スタディツアー2016」を実施する。

2017年2月25日　ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催する。

3月28日　第28回KFAW研究報告会を開催する。

5月15日　「2017年GSWポストカンファレンスin北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」を開催する。

6月23日　第61回国連女性の地位委員会帰国報告会（CSW61）を開催する。

7月～9月　高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。

11月25日　「第28回アジア女性会議―北九州」（テーマ：あなたの老後、だれが看るの？～高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます～）を開催する。

2018年1月17日～20日　「KFAW台湾スタディツアー2017」を実施する。

3月25日　第29回KFAW研究報告会を開催する。

刊行物一覧

(1) 出版物

アジア女性研究

アジア女性研究	創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 2 号	環境・開発・女性	1,000 円
アジア女性研究	第 3 号	A　地球の未来と人口問題 B　アジアの女性と人口問題	1,000 円
アジア女性研究	第 4 号	女性と家族	1,000 円
アジア女性研究	第 5 号	女性と労働	1,000 円
アジア女性研究	第 6 号	女性とメディア	1,000 円
アジア女性研究	第 7 号	女性と教育	1,000 円
アジア女性研究	第 8 号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000 円
アジア女性研究	第 9 号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000 円
アジア女性研究	第 10 号	ジェンダー主流化に向けて	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 11 号	ジェンダーと健康	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 12 号	持続可能な開発―ジェンダーの視点から	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 13 号	ICT とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 14 号	人間の安全保障とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 15 号	グローバル化とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 16 号	ジェンダーと政治（ポリティクス）	1,000 円
アジア女性研究	第 17 号	福祉とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 18 号	科学とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 19 号		※
アジア女性研究	別冊	アジア女性学の動向	200 円
アジア女性研究	第 20 号		※
アジア女性研究	第 21 号		※
アジア女性研究	第 22 号		※
アジア女性研究	第 23 号		※
アジア女性研究	第 24 号		※
アジア女性研究	第 25 号		※
アジア女性研究	第 26 号		※
アジア女性研究	第 27 号		※

※配布、ホームページからダウンロード

KFAW 調査研究報告書

No.2010-1	インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等―現状と課題―	※
No.2010-2	日本の犯罪報道における女性　全国紙・地方紙の場合	※
No.2010-3	外国籍女性とその子ども達の社会包摂 ―福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の　多文化共生―	※
No.2011-1	Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makthal Federation in Andhra Pradesh, India ［女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ―インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連盟を事例として―］	※
	Federations as Collective Actions of *Sanghams*: The Case of Makthal in Andhra Pradesh	
No.2012-1	ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム ―JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに―	※
	Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming	
No.2012-2	農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に関する研究	※

No.2012-3	アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住 ―インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から―	※
No.2013-1	津波被災地の復興における女性の役割 ―インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して―	※
No.2013-2	現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー	※
No.2014-1	夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか ―既婚女性へのインタビュー調査から探る―	※
No.2014-2	グローバリゼーションに対する認識と英語力 ―日本人女性と韓国人女性との比較―	※
No.2015-1	地域における女性団体の活動に関する研究 ―北九州市の女性団体を中心に―	※
No.2015-2	移住によって潜在能力は発揮できるか？ ―ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴―	※
No.2015-3	台湾・マレーシアにおける暴力被害者支援の研究	※
No.2016-1	第１回 WWAS 国際会議フォローアップ会議　北九州タウンミーティング 「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書	※
No.2017-1	アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会 ―台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に―	※
No.2017-2	日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題： ジェンダーの視点からの分析	※

※配布、ホームページからダウンロード

Journal of Asian Women's Studies

Journal of Asian Women's Studies Vol. 1	Women in Development in Asia	800 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 4	Women and Family	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 5		1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 & 7		1,500 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 8		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 9		1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 10	Women / Gender and Globalization	1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 13	ICT and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 14		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 15		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 16		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 17	Welfare and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 18	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 19	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 20	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 21	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 22	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 23	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 24	E-journal	※

※ホームページからダウンロード

環境シリーズ

アジアにおける環境と女性―実践実例集―	500 円
地球温暖化対策の未来	500 円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして　記録	300 円
「持続可能な開発のための教育」～(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動記録～	非売品

農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント―韓国と中国からの報告―	1,000 円
Empowerment of Female Farmers in Asia―Korea and China―	1,500 円（品切れ）
Empowerment of Female Farmers in Asia―Vietnam and Thailand―	1,500 円

アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス（ハードカバー）	2,500 円
アジアのドメスティック・バイオレンス（ペーパーバック）	2,000 円
Domestic Violence in Asia―A Report from Korea and Cambodia―	800 円

アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究―福岡・ソウル調査を中心に―	2,000 円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan ―Centered on Seoul and Fukuoka―	2,000 円
現代タイの家族意識の研究―バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に―	2,000 円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand ―With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka―	2,000 円
現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 ―北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較―	2,000 円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China ―A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka―	2,000 円（品切れ）
アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000 円
The Influences of Economic Development upon Women and Families ―Experiences in Seven Asian Countries―	2,000 円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー―経済危機の前夜まで―	2,000 円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia―Focusing on Kuala Lumpur―	2,000 円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー―改訂版―	1,200 円

アジアの働く女性シリーズ

パキスタンの働く女性―綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者―	1,000 円
ベトナムの働く女性―ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者―	1,000 円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 ―開発における社会・経済ジェンダー分析（SEGA）モデルの検証―	1,000 円

客員研究員研究

マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 ―ナショナリズム・国家建設・ジェンダー―	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 ―東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で―	1,000 円（品切れ）

上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動（ビルマ語付）	1,500 円（品切れ）
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 —東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用—女性の社会的役割の増大する中で—	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 —労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」：法多元主義と正義へのアクセス	非売品
フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV ／ AIDS 対策に関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント	※
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	※
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 —人身売買被害者の「＜ほんもの＞の語り」—	※
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向—日本、韓国、台湾を事例として	※
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から— （ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より）	※
自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究	※
東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容 —韓国・台湾・日本の比較研究—	※
内戦・津波災害下のこどもの健康 —スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—	※

※ホームページからダウンロード

起業家シリーズ

私の起業体験—きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち—	1,000 円
アジアの女性起業家	1,000 円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000 円

アジア女性シリーズ

No. 1「中国の女性」	1,000 円
No. 2「スリランカの女性」	1,000 円
No. 3「インドネシアの女性」	1,000 円
No. 4「韓国の女性」	1,000 円
No. 5「フィリピンの女性」	1,000 円
No. 6「バングラデシュの女性」	1,000 円
No. 7「ベトナムの女性」	1,000 円
No. 8「タイの女性」	1,000 円
No. 9「中国の女性（改訂版）」	1,000 円
No. 10「シンガポールの女性」	1,000 円
No. 11「マレーシアの女性」	1,000 円
No. 12「インドの女性」	1,000 円

海外通信員レポート集

Vol. 1 (1991-1992)	500 円
Vol. 2 (1992-1993)「家族教育と女性」	800 円
Vol. 3 (1993-1994)「教育と女性」	800 円
Vol. 4 (1994-1995)「女性と家族」	800 円
Vol. 5 (1995-1996)「女性と労働」	800 円
Vol. 6 (1996-1997)「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 7 (1997-1998)「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 8 (1998-1999)「女性と起業家」	800 円
Vol. 9 (1999-2000)「高齢者と子ども」	800 円
Vol. 10 (2000-2001)「環境と女性」	800 円
Vol. 11 (2001-2002)「健康と女性」	非売品

中間階層の研究シリーズ

現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000 円
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000 円

その他

Princess Sunflower	1,500 円
おんなの軌跡北九州―北九州市女性の 100 年史―	3,000 円

※全て税込価格です。
　出版物を郵送する場合、送料が別途かかります。

海外とのネットワーク

114 カ国　3 地域　延べ 1,255 人（2018 年 3 月末まで）

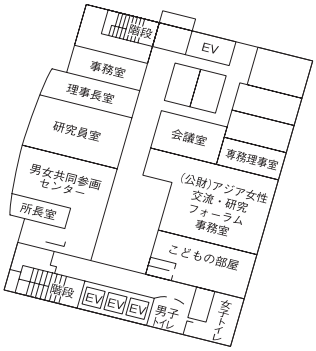
合計	1,255
国（114）	1,210
地域（3）	45

アジア　21 カ国		832
1	インド	58
2	インドネシア共和国	58
3	カンボジア王国	30
4	シンガポール共和国	31
5	スリランカ民主社会主義共和国	38
6	タイ王国	67
7	大韓民国	102
8	中華人民共和国	89
	（うち香港特別行政区）	9
9	ネパール連邦民主共和国	60
10	パキスタン・イスラム共和国	36
11	バングラデシュ人民共和国	46
12	東ティモール民主共和国	3
13	フィリピン共和国	95
14	ブータン王国	8
15	ブルネイ・ダルサラーム国	2
16	ベトナム社会主義共和国	35
17	マレーシア	34
18	ミャンマー連邦共和国	10
19	モルディブ共和国	8
20	モンゴル国	14
21	ラオス人民民主共和国	8
北米　2 カ国		87
1	アメリカ合衆国	83
2	カナダ	4
中南米　16 カ国		53
1	ウルグアイ東方共和国	6
2	エルサルバドル共和国	2
3	コスタリカ共和国	2
4	コロンビア共和国	1
5	ジャマイカ	1
6	スリナム共和国	3
7	セントルシア	1
8	チリ共和国	4
9	ニカラグア共和国	1
10	ハイチ共和国	2
11	パナマ共和国	4
12	パラグアイ共和国	1
13	ブラジル連邦共和国	12
14	ペルー共和国	6
15	ホンジュラス共和国	1
16	メキシコ合衆国	6
欧州（NIS 諸国を含む）　24 カ国		57
1	アルバニア共和国	4
2	英国（グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国）	9
3	イタリア共和国	2
4	ウズベキスタン共和国	2
5	オランダ王国	4
6	キプロス共和国	1
7	キルギス共和国	2
8	クロアチア共和国	1
9	コソボ共和国	5
10	スウェーデン王国	1
11	タジキスタン共和国	2
12	チェコ共和国	1
13	デンマーク王国	2
14	ドイツ連邦共和国	2
15	ノルウェー王国	2
16	フィンランド共和国	3
17	ボスニア・ヘルツェゴビナ	5
18	ポルトガル共和国	1
19	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1
20	モルドバ共和国	1
21	ロシア連邦	2
22	ジョージア	2
23	スイス連邦	1
24	セルビア共和国	1
大洋州　9 カ国		58
1	オーストラリア連邦	18
2	キリバス共和国	1
3	サモア独立国	3
4	ソロモン諸島	3
5	パプアニューギニア独立国	17
6	パラオ共和国	1
7	バヌアツ共和国	2
8	フィジー諸島共和国	12
9	ミクロネシア連邦	1
中東　8 カ国		30
1	アフガニスタン・イスラム共和国	9
2	イエメン共和国	2
3	イスラエル国	1
4	イラク共和国	1
5	イラン・イスラム共和国	3
6	シリア・アラブ共和国	1
7	トルコ共和国	5
8	ヨルダン・ハシェミット王国	8
アフリカ　34 カ国		93
1	アルジェリア民主人民共和国	1
2	ウガンダ共和国	7
3	エジプト・アラブ共和国	2
4	エリトリア国	1
5	ガーナ共和国	9
6	ガボン共和国	1
7	カメルーン共和国	2
8	ケニア共和国	11
9	コートジボワール共和国	4
10	コンゴ共和国	1
11	コンゴ民主共和国（旧ザイール）	2
12	サントメ・プリンシペ民主共和国	1
13	ザンビア共和国	3
14	ジンバブエ共和国	2
15	スワジランド王国	3
16	赤道ギニア共和国	1
17	セネガル共和国	1
18	タンザニア連合共和国	4
19	チャド共和国	2
20	中央アフリカ共和国	1
21	ナイジェリア連邦共和国	10
22	ニジェール共和国	4
23	ブルキナファソ	2
24	ブルンジ共和国	1
25	ベナン共和国	1
26	ボツワナ共和国	1
27	マダガスカル共和国	1
28	マラウイ共和国	5
29	マリ共和国	2
30	南アフリカ共和国	3
31	南スーダン共和国	1
32	モーリシャス共和国	1
33	モーリタニア・イスラム共和国	1
34	レソト王国	1
地域　3 地域		45
1	イギリス領ヴァージン諸島	1
2	台湾	39
3	パレスチナ（PLO）	5

施設案内

北九州市大手町ビルは地上10階、地下2階建てで、平成7年7月に開館しました。
1階から5階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは3階に入居しています。

3階　FLOOR GUIDE



主　な　施　設

9・10F	北九州市立大手町練習場	
8F	北九州市人権推進センター	
6・7F	(公財)アジア成長研究所	
5F		北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
4F		
3F	**(公財)アジア女性交流・研究フォーラム**	
2F		
1F		
B1･2F	地下駐車場（有料・100台収容）	

アクセス

①JR西小倉駅より
1）徒歩約15分
2）西鉄バス
・西小倉駅前　ソレイユホール・ムーブ前下車
36、45、76、110、138、150、170、175、197

②JR小倉駅より
1）西鉄バス
・小倉駅バスセンター　ソレイユホール・ムーブ前下車
27、36、45、110、138
・小倉駅入口　ソレイユホール・ムーブ前下車
76、150、170、175、197

③北九州都市高速道路　勝山ランプ/大手町ランプより約3分

指定管理施設の案内

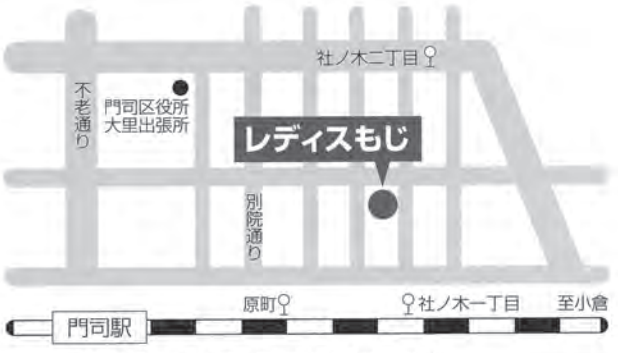
北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ

〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL(093)583-3939
FAX(093)583-5107

ホームページアドレス
http://www.kitakyu-move.jp
E-mail:move@move-kitakyu.jp

北九州市立東部勤労婦人センター レディスもじ



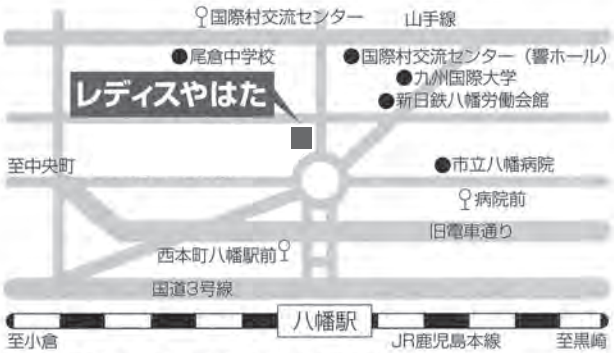
■交通機関／J R…門司駅から車で5分
西鉄バス…社ノ木一丁目・二丁目から徒歩3分

レディスもじ

〒800-0051　北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL (093) 371-4649
（みないっしょ よろしく）
FAX (093) 371-4268

U R L：http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji
E-mail：moji@kinroufujin-kitakyu.jp

北九州市立西部勤労婦人センター レディスやはた



■交通機関／J R…八幡駅から徒歩で10分
西鉄バス…
西本町、八幡駅前、市立八幡病院、国際村交流センターから徒歩3～5分

レディスやはた

〒806-0059　北九州市八幡東区尾倉二丁目6-6
TEL (093) 661-1122
FAX (093) 661-2714

U R L：http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata
E-mail：yahata@kinroufujin-kitakyu.jp

（公財）アジア女性交流・研究フォーラム
平成 29（2017）年度 年報

発　　行　（公財）アジア女性交流・研究フォーラム
〒 803-0814　北九州市小倉北区大手町 11-4
TEL（093）583-3434
FAX（093）583-5195
URL http://www.kfaw.or.jp
発 行 月　平成 30 年 8 月

KFAW

公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階
電話　093−583−3434　FAX　093−583−5195
E-mail: kfaw@kfaw.or.jp　ホームページ http://www.kfaw.or.jp